

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回東浦町中央図書館協議会	
開 催 日 時	令和4年6月22日(水) 午後3時00分から午後4時15分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館2階 大会議室	
出 席 者	委員等	杉浦 恵子氏、浅井 真司氏、橋本 記江氏、松橋 秀親氏、 小田 薫氏、成田 幸治氏、月原 康雄氏、西村 加絵氏
	事務局 (生涯学習課、 株式会社図書館 流通センター)	庄子教育長、石川教育部長、佐東課長、関課長補佐、綿貫主事、 島津図書館長、大西副館長、平松サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 令和3年度事業報告について(資料1) (公開) 2 令和4年度事業計画について(資料2) (公開) 3 その他(公開)	
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容	<p>◆図書館長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の任期と交代について報告する。 ・資料確認を行う。 ・図書館年報の修正事項を説明する。 ・会議の成立について報告する。 <p>次第に従って会を進める。</p> <p>◆教育長 (挨拶)</p> <p>協議会委員と事務局の自己紹介</p> <p>令和4・5年度東浦町中央図書館協議会正副委員長の選出 委員長 杉浦恵子氏、副委員長 成田幸治氏に依頼する。</p> <p>〈異議なし〉</p> <p>◇委員長 (挨拶)</p> <p>◇副委員長 (挨拶)</p> <p>以降は委員長が議事を取り回す。</p>	

◇委員長

次第に従い議事を進める。議題1 「令和3年度事業報告について」を議題として、事務局からの説明を求める。

◆事務局

図書館年報に基づき、令和3年度事業報告について説明する。

◇委員長

事務局の報告を受けて、委員の質疑を募る。

◇委員

・ゆめらびコーナーの利用状況はどうか。

◆事務局

・リニューアル前は入口に壁があり、中が見られにくいこともあり、居眠りする利用者もいた。今では利用の回転率が上がり、女性も利用するようになったことから、年齢層が若返り、利用する人も増えた印象がある。

◇委員長

・ひな壇ベンチでイベントは何か行ったか。

◆事務局

・オープニングイベント、絵本作家わたなべちなつさんのトークイベント兼ワークショップ、そしてジャズコンサートなどを行った。

◇委員

・居場所づくり事業の現状は。

◆事務局

・平成28年度からひきこもりの方をターゲットに社会福祉協議会の相談員を置いてスタートしたが、ターゲットの方が来ることが少なく、相談員は引き上げている。現在は、皆さんが気軽に立ち寄れる場所にしたいと考えているため、今後も居場所を継続し、指定管理者の民間のアイデアを活用していきたい。

◇委員

・居場所を207名が利用している理由は。

◆事務局

・まんがが置かれているので、勉強の合間のリフレッシュとして学生が利用している。

◇委員

・入館者の年齢層等、コロナ前後で変化した点について伺いたい。

◆事務局

・視聴覚・ブラウジングコーナーの再編の時期と重なったため、コロナの影響かどうか分からないが、ブックカートを導入したこともあり、子ども連れの親子をよく見かけるようになった。利用の年齢層が下がっている。

◇委員長

・個人的にはコロナ後の利用が増えている。しかし、中・高生の利用が少ないことは変わっていない。図書館ボランティアに高校生が32名参加している。高校生であれば単純作業以外におすすめ本のコーナー作りに参加させるとか、創造性があり彼らの想いが残るような仕事をしてもらってはどうかと思った。

◇委員

・高校生のボランティアが増えた経緯は。どのようにアピールしたのか。

◆事務局

・高校生の図書館ボランティア参加者のうち、過半数は町外の高校に在籍している生徒であり、学校でボランティア活動に関する課題が出されたことが、参加者増加に繋がったと考えられる。
・町内の高校生で熱心に毎週活動していた生徒もいたため、ボランティアの内容についても検討していきたい。

◇委員

・学生が関わった選書や展示などは通常よりも利用率が上がる。学生ボランティアには積極的に図書館の活動に関わってもらいたい。

◇委員

・図書館ボランティアの活動内容については、大学でも学生から発案があり、選書ツアーやポップを書いてもらって、成果を上げている。学生主体のイベントや企画を行うなど、若者の新しい視点をぜひ活用してほしい。利用者目線の声は響くはずである。

◇委員

・子育て支援センターは昨年10周年であった。コロナ禍で大きなイベントは出来なかった。利用は元年度から半減している。イベントを中止したことが影響は大きかったか。イベントは分散して行う方法もある。催事では他からアイデアをいただくこともある。

◇委員

・参加するボランティアに活動内容の希望を聞いたことはあるか。

◆事務局

・活動内容を提示して募集をしている。ボランティアをしてもらう当日に声かけをしていたが、それ以外で学生から活動内容の希望を引き出すことはなかった。

◇委員長

- ・議題1について締め切り、議題2「令和4年度事業計画」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

- ・令和4年度図書館事業計画に基づき、令和4年度事業計画について説明する。

◇委員長

- ・事務局の報告を受けて、委員の質疑を募る。

◇委員

- ・新規事業の電子図書館を導入して紙資料の図書購入費の比率が減ったのか。
- ・座席予約システム導入後、図書館に来て学習室を使いたい方への対応は考えているか。
- ・ICタグを導入した後の活用計画について伺いたい。

◆事務局

- ・図書購入費は変化していない。電子書籍の購入費はこれまでの図書購入費に予算を追加したものであるため、紙媒体の図書の購入に影響はない。
- ・座席予約システムはWEBからだけでなく、館内の端末からも予約出来る。
- ・これから計画していくため、明言はしかねるが、防犯ゲートの設置、自動貸出し機、自動返却、蔵書点検の効率化、予約資料受取場所の設置など、将来的に提案をしていきたいと思っている。

◇委員

- ・公共図書館という性質上、ICTに不慣れな利用者でも利用できるようマニュアルは丁寧に整備してもらいたい。

◆事務局

- ・どなたでも利用しやすいように、スタッフの丁寧な対応やマニュアルの整備を行っていききたい。

◇委員

- ・片葩小学校では、かたつむり読書週間として、読んだ本について、はがきにイラストなどを描き、みんなに紹介する活動を行っている。子どもたちは、自分の声を拾ってもらえることがうれしい。図書館でもやってもらえれば素敵だと思う。

◇委員長

- ・ポップで本を紹介することは今でも行っているか。

◆事務局

・よむらびポップを行っているがマンネリ化しているので手を加えていければと思う。

◇委員

・学校を通じて募集をかけてみるのはどうか。

◇委員

・ぐるぐる図書館について、コロナ禍で活動は広がっているのか、また図書館としてどのような連携をしているか。

◆事務局

・コロナ禍で活動を控えたいという意見があった。コロナが落ち着けば再活動の声かけをしていきたい。

◇委員

・「よむらびん」について、新しい「よむらびん」を目指してほしい。全戸配布なので、なにか変化を加えても良い時期だと思う。

◇委員

・開館30周年のイベント企画が良かったがコロナ禍で制限を受け、もつたいなかったと思う。今年も引き続き尽力してほしい。

◇委員

・特集展示に関しては、大人向けだけでなく、子ども向けの本も入れて親子での会話に繋がるような展示を望む。

◇委員長

議題2についての質疑を締め切り、全体を通して質疑を募る。

以降の議事進行は事務局で行う

◆事務局

・議事4 「その他」電子図書館について事務局から説明

◇委員

・貸出ランキングは表示できるか。

◆事務局

・ベストリーダーの表示は現在行っていない。表紙を表示（サムネイル）した特集展示や、本にアクセスしやすい工夫を行い、適宜対応していく。

◇委員

・独自資料の電子化にはコストがかかることが想像されるが。

◆事務局

・現在は、スキャンをしてPDF化する簡易的な方法で資料を掲載している。

◇委員

・歴史的資料が配信される仕組みが必要だと思う。

◆事務局

・現在は、基本的に町が著作権を持つものを掲載している。独自資料は町民以外の方でも読むことが出来るようにしている。

全体の意見交換を行う。

◇委員

・良い取り組みだと感じたブックスタート事業について知りたい。

◆事務局

・4か月検診時に母子を対象に読み聞かせを行っている。

◇委員

・小さいころに本を読んでもらうことや、一緒に読む体験をさせることはとても良いと思う。小さいころの読書体験が大切。読者好きの子どもたちを育てていくためには、お父さんお母さんを巻き込み、読書好きになったきっかけの本を紹介すると子どもも興味を持つかもしれない。今後も素晴らしい事業を展開してほしい。

◆図書館長

・郷土の久米常民先生が国語は文学教育である前に言語教育であるべきだと述べられている。図書館は、子どもたちの学びを支える場を目指したい。

◆事務局

・次回第2回協議会の日程は来年3月の予定。
事務連絡を行い、会議の終了を宣言する。